



## 組合事業経過報告

本年1月から4月までの間、組合事業は以下の通り運営された。

《新春セミナー》 1月22日東京日比谷「松本楼」にて開催。

テーマ：「酒類総合研究所の最近の動向から」 講師：酒類総合研究所理事木崎康造氏

《賀詞交歓会》 同1月22日東京日比谷「松本楼」にて開催。30名が集う。

《理事会開催》

1月22日（東京） 総合カタログ発行方針、ほか当面の組合運営に関して論議。

4月10日（大阪） ①9月の通常総会に向けて、会場・セミナー講師の候補について検討。

②カタログ発行に向けた進捗状況確認

《総合カタログ編集委員会》

1月から5月まで月1回のペースで開催。6月発行の方向で最終段階に入る。

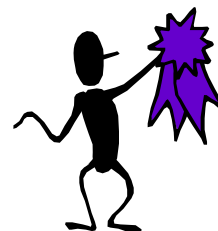
### 今号の記事

- ◆ カタログ編纂情報・各種イベント案内・・・P2
- ◆ 酒類課税出荷数量調べ／国税庁発表（平成18CY）・・・P3
- ◆ 中小企業施策ガイド・・・P3
- ◆ 雑感・・・寄稿 藪田産業(株)藪田社長／永田醸造機械(株)荒木社長  
・・・P4



今年は初の試みとして製造技術研究会をこれまで通り東広島市の東広島運動公園「アクアパーク体育館」において開催。一般公開は6月7日東京池袋「池袋サンシャイン」(2ページ目に案内記載)において開催される。

← 熱心にきき酒を行う参加者



### 「第40回通常総会」のご案内

2007年9月25日（火）午後 会場：虎の門パストラル  
セミナーには、薩摩酒造「鮫島吉廣氏」のご講演を予定しています。

# 発酵食品機械・醸造用品総合カタログまもなく完成！！

## 発行要項

1. 名称 2007発酵食品機械・醸造用品総合カタログ
2. 仕様 A4判フルカラー印刷 約280ページ
3. 構成 掲載企業：全国醸造機器工業組合組合員全社&関西醸造用品組合及び関東醸造用品組合の組合員企業 68社  
掲載内容：企業毎の取扱製品案内  
関係省庁・関係諸団体名称及び所在地 等  
付録CD-ROM
4. 配布先 ①国内の「清酒・焼酎等酒類製造業者」約1800社  
②国内の「味噌・醤油製造業者」約2200社  
③国内の「ビール・ワイン製造業者」約300社  
④工業技術センター等研究機関ほか官公庁 約100先
5. 発行時期 2007年6月中

## カタログの特徴

1. 3組合 合同編集！（初の試み）
2. カタログを使っていただく方の利便性に配慮！（キーワード検索により扱い企業の検索が容易に）
3. パソコン用にCD-ROM付属！
4. カタログ内の色調は目に優しいエコカラーに可能な限り統一！

### カタログ編集委員会ウラ話

「〇〇さんと△△さんのところがまだ原稿きてません！」  
 「催促してください」「表紙のデザインどうします？」「う～ん、これだと機器組合の色が強すぎる感が・・・」「今どき CD-ROM をつけるのは当たり前！ゲツ予算が・・・ヨシダ印刷さん、協力してよ」「そんなこと言われてもメーカーですよ」「そこをなんとか！」 (^\_^;



## イベント情報

**FOOMA**  
**JAPAN** INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION  
 2007 国際食品工業展

食 と キ カ イ の 玉 手 箱

平成19年 6/5 火 - 8 金 東京ビッグサイト 10:00-17:00

主催：社団法人 日本食品機械工業会  
 後援：経済産業省 農林水産省 厚生労働省 東京都 日本貿易振興機構  
 運営：アテックス株式会社

全国の自慢の銘酒が勢ぞろい

## 全国日本酒フェア

約500点の銘酒から見つける、あなたのいちばん。

平成18酒造年度  
 全国新酒鑑評会

## 公開きき酒会

2007年6月7日(木)

- 開催時間:15時～20時
- 会場:東京・池袋サンシャインシティ  
ワールドインポートマート4F展示ホールA

\*その他詳細は、同封の資料をご参照ください。



# 『平成18年年間酒類出荷状況』 938万kℓで前年比0.7%微減

国 税 庁 発 表

## 平成18年CY酒類課税出荷数量

—国産と輸入品合計—

区 分	平成18年	平成17年	前年比
清酒	709,757	737,675	96.2
合成清酒	61,059	64,141	95.2
連続式蒸留焼酎	497,098	510,341	97.4
単式蒸留焼酎	550,954	536,856	102.6
みりん	112,159	110,312	101.7
ビール	3,537,141	3,606,826	98.1
果実酒	240,733	252,460	95.4
甘味果実酒	11,482	7,223	159.0
ウイスキー	80,686	84,533	95.4
ブランデー	9,682	10,700	90.5
発泡酒	1,586,908	1,782,154	89.0
その他の醸造酒	1,097,099	885,700	123.9
スピリッツ	102,453	78,289	130.9
リキュール	781,094	778,244	100.4
雑酒等	2,094	1,648	127.1
合 計	9,380,399	9,447,102	99.3

(注) 各欄ごとに端数処理を行っているため、総計については必ずしも符合しない。  
 なお、計数比較については、酒税法附則第66条(製造免許等に係る経過措置)第1項の表に基づく。  
 表中のスピリッツ等には原料用アルコールを含み、雑酒等には粉末酒を含む。  
 <国税庁発表> (単位: kℓ, %)

国税庁が発表した平成18年(18年1～12月累計)の酒類課税出荷数量(国産酒類と輸入酒類の合計)は、前年より944万kℓより6万kℓ減少し、前年比0.7%の微減で、前年の944万kℓより6万kℓ減少した。連続式蒸留焼酎は2.6%増、ビールは0.8%減、スピリッツは11%増、果実酒は4.6%減、ウイスキーは4.6%減、発泡酒は1.9%減、新ジャンル酒類などは、前年と横ばいの状況で、清酒、ビール、果実酒などは、依然として前年比減少が続いている一方、本格焼酎は、前年比2.6%増加と前年を上回る増率で安定成長を続けている。



日本酒



本格焼酎  
泡盛

### 中小企業施策利用ガイド

—中小企業対象 地域資源活用型の補助金制度ご案内—

#### 『地域資源活用売れる商品づくり支援事業』—中小企業庁—

地域の優れた資源を活用した新商品、新サービスの開発・販売の取り組みに対し、売れる商品づくりや地域発のブランド構築の実現を目指すための補助金があります。

地域資源を活用して新規性の高い商品開発等に対し、試作品開発、デザイン改良展示会出展等に係る経費の一部を補助。

醸造機器メーカー自らが活用する場合以外にユーザーさんと一緒になったの取り組みも検討されてはいかがでしょうか。

詳細は、下記のHPアドレスよりご覧ください・・・

[http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g\\_book/gb157.html](http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/gb157.html)

## 「とらのもん」雑感 (寄稿)

### 「62年ぶりの再会」

私の母方の祖父は昭和17年から20年の終戦まで中国の漢口（現在の武漢）で酒造会社を設立し清酒製造を行っていました。日本から技術者や資材を取り寄せかなりの規模で製造していたようですがその会社に陸軍から技師として派遣されていたのが俳優のM氏でした。当時母は15歳でしたが終戦間際で日本人学校が閉鎖されたため時々M氏に勉強を見てもらっていたそうです。現地で終戦を迎えた祖父母と母は翌年の昭和21年になってようやく帰国できましたがM氏は終戦直前に行方不明になり連絡が取れない状況でしたが無事帰国してその後俳優の道に進まれたと伝え聞いていました。

今月になって映画のロケ地となった岡山県の観光課から問い合わせがありM氏が岡山県出身の母を捜しておられますがお会いになりますかとの問い合わせがありました。母と私は当時の写真を携えて映画のレセプション会場にでかけ母とM氏は62年ぶりに再会しました。母は最初相当緊張していましたがしばらく話をすると当時の記憶がよみがえってきて15歳の頃のように生き生きした表情になりM氏との会話が弾みました。M氏は祖父の酒造会社へ派遣されたため前線に送られず命拾いしたことや戦後何度か岡山に来て連絡を取ろうとしたがうまくゆかなかったこと等を話されました。

今年78歳の母と84歳のM氏の戦後に一区切りがついたようなひと時でした。M氏とは「釣りバカ日誌」のヌーさんでおなじみの三國連太郎氏（当時は佐藤一等兵）です。

藪田産業株式会社 代表取締役社長 藪田亘康



中国清酒工場のラベル貼り作業

### メタボリックシンドローム

この3年間、数多くの経営者の方と接する機会がありました。仕事に対する姿勢の中で、多くの経営者の方は体調管理に十分気をつかいながら過ごされていることに気づかされました。

私の場合、若さ故にその点については十分とは言い切れません。年々2キロずつ体重が増加しており、メタボリックシンドロームの分類に属していることは間違いないと思われます。いわゆる内臓脂肪型肥満と言われ、複数の生活習慣病を招き、放置すると動脈硬化により、心筋梗塞や脳梗塞を起こすと言われてます。

食事量は変わらないのに、なぜか太ってしまう。摂取エネルギーと消費エネルギーが同じであれば太ることはないが、消費が下回っている為、脂肪が蓄積されるのでしょう。

若い頃は運動をしていたせいで、太りたくても太れなかった。しかしながら今は運動量も減り、年と共に基礎代謝も低下し、エネルギーが消費しにくい体になっているのが事実でしょう。

最近はこの太った体を改善する為、運動という点では朝の散歩、休日のジョギングを心がけ、食事については油分をひかえ野菜中心にし、満腹になるまで食べない、間食をしないことを心がけています。若さに驕らず、体調管理には十分気をつけ、会社で〇リエモンみたいと言われたいように、違った姿をお披露目できるよう努めていきたいと思います。

永田醸造機械株式会社 代表取締役社長 荒木基弘